

太田東西かわら版 2013.9

「いい人」さよなら～～



みなさん、このイラストを見て、どう思われました？

「神聖な天使が、タバコを吸っているとは！」

「誰だ！こんな不謹慎な絵を描いたのは！！」

「子どもの教育上、甚だよろしくない！！」

太田東西は違いまして・・・

「このギャップ、最高！！」 \ (^ 0 ^) /

このイラストを描いた作者によると・・・

天から落ちてきた天使が、こっそりタバコを吸っている。

(天使の世界にも『オチコボレ』がいるのか?笑)

その“墮天使”の目線は、ハラハラドキドキしながら天の方角に。

「バレないだろうか・・・見つからないだろうか・・・」

タバコを吸いながらも、しっかり罪の意識はある。

でも、吸いたい気持ちは止められない!

つまり・・・

人間には「善悪」両面がある。

「墮天使を否定するのではなく、自分の悪の部分も認めて生きましょう!」

そういう思いが込められているそうです。

つまり・・・

いつもいつも「いい人ぶるな!」ってことです(笑)

いい人というのは、

自分の言いたいことを言わずに、本音を隠す。

イヤなことをイヤと断れずに、引き受ける。

やりたくなくても、損をしていても、傷ついても、疲れていても

「だいじょうぶ!平気ですから!」笑顔を振りまく。

そんな世間では「とってもいい人」が、家に帰るや否や豹変して

配偶者や子どもを怒鳴りつける。寡黙で無愛想になる。

「とってもいい先生」が休日は朝から1日中、酒を飲んだり、パチンコに行き借金をつくれたり、家族からひんしゅくを買っている。

クラスの担任として、部活の顧問として人望の厚い「とってもいい先生」が援助交際や痴漢行為で捕まって懲戒免職になったり。

仲良しで礼儀正しいという評判の「とってもいい家族」が、親殺し子殺し事件沙汰を起こしたり。

そして周りは決まって、「あんなにいい人が、信じられません・・・」

病气や死の場面でも、同じ声が上がります。

「どうしてあんなにいい人が、病気になるの? 早世するの?(泣)」

どうしてって、

それはその人が「いい人過ぎる」からですよ!

人には誰にでも「ハメを外したい」欲求があります。
人さまにはとても見せられない、知られたくない自分。
自分に自信がない人でも、自分が大嫌いな人でも、人は誰でも最後は
自分が一番かわいいんです！

「人の為に善いことをする」と書いて「偽善」と読みますし（笑）

「人のために、人に迷惑をかけないように生きる！」
もちろんそれは間違いではありません。素晴らしい生き方です。
しかし、ではなぜそんな「いい人」が
大病したり、早世したり、反転、犯罪を犯したりするのか？

それは

自分を偽って生きているから

ほんとうに人にやさしい人は、「自分にもやさしい人」です。
ほんとうに人を大切にできる人は、「自分も大切にできる人」です。

よって

「ほんとうにいい人」は、無理をしません。限界を知っています。
やりたくない自分、楽をしたい自分を隠さず、自分に正直に生きています。
だから、ほんとうに元気で、ほんとうに幸せなのです！

「いい人」の深層心理には
周りに嫌われたくない、悪く思われたくない、認められたい、良く思われたい
そうした「幼児性」があるのかも？
親からほめられ、認められた体験が少ない人ほど、そのような傾向が・・・

太田東西の漢方相談は

「いい人」から「ほんとうにいい人」に精進するためにあります。
だって「ほんとうにいい人」は、健康で幸せに生きていますから！

特に女性のお客様は、「いい人過ぎる」から体調を崩すのです。
「いい人ではない人（夫、親、友人など）」に我慢して合わせ、振り回され
結果、自分がどんどんくたびれていく・・・

「自分を大切にする」「自分を好きになる」「周りの評価を気にしない」
そのためには、自分の「悪」の部分、時には本音も表に出して
もう、いい人ぶるの、止めましょうよ！！

「いい人」は言葉づかいも丁寧で、礼儀正しくて「品行方正」では、「いい人を止める」ということは常識やマナー、モラルに欠ける「品性下劣」になるってこと？

違いますよ！それはただの「バカ」「下品」です（笑）
品行方正な言動はそのまま
「無理している自分」「いい人過ぎている自分」を意識する、
「もう一人の自分」を築いていくことです。
自分が自分を客観的にとらえていくのです。

そして
「自分なんか、所詮こんなもの」
投げやりになるのではなく、自分を低く見せるのではなく
「ほんとうの自分」を周りに見せる。格好つけず、ありのままに生きる。

私の場合、それをネットの太田東西ブログでやっています。
ブログ愛読者の方は、私の「アホさかげん」、もうご存知ですよ？（笑）



いくら東洋医学の名医134人に選ばれても、命の恩人だと深く感謝されても自分なんか、所詮こんなものです（笑）
白衣を着て一心不乱に漢方相談に頑張っている自分も、飲み過ぎてダウンして家族から失笑された自分も、善も悪も、表も裏も、全部が自分です！

真面目過ぎず、悪ふざけし過ぎず、頑張り過ぎず、なまけ過ぎず、
「ほどほど」を意識して生きる。
「ほんとうにいい人」は、極端に偏らないバランス感覚の持ち主です。